

36.

M-0113

0201

原書ハ	
編者附言	
目録	
頁数	1-1-8
分類	M.1.30.1-3

(分類 M.1.30.1-3)

昭和16 五八三五 (暗)

河内 三月六日後發  
本省 七日前着

松岡外務大臣

林總領事

第一一六號

貴電第七一號ニ關シ「ユエ」帝國領事館新設ノ件

安南全國ヲ管轄トスルコト至當ナルカ如キモ地域廣大ニ過キ且經濟  
上地勢上南北地方ハ夫々河内西貢ノ勢力圏ナルヲ以テ北部二省ヲ河  
内ニ南部三省ヲ西貢ニ殘置シテ殘リ安南八省ト「ラオス」ノ南部五  
省ヲ「ユエ」管轄トスルコト至當ト認ム澄田機關同意見委細郵送ス

外務省

(日本標準規格B5)

外機密

通 番 號  
四 五 九 八  
(符 號)  
昭 和 十 七 年 二 月 二 日 後 八 時 分  
主 通 二 管

在河内 芳澤大使

東郷外務大臣

「ユエ」駐在帝國領事官管轄區域ニ關スル件

第一一三號 至急

近ク開館ノ在「ユエ」領事官管轄區域ニ關シ貴見至急御四電相煩  
本大臣ノ訓令トシテ西貢ヘ轉電アリタシ

電信寫

M.1.30.1-3

M-0113



外機密

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 弘報 調査 南洋 人事 儀典 文書 會計 會社 秘書官

寫送先

M1.3.0.1-3

昭和17 四〇二六 暗 河内 二月六日後發  
本省 七日前着

東郷外務大臣

芳澤大使

通

第一八〇號

(「ユエ」領事館管轄區域ニ關スル件)

貴電第一一三號ニ關シ

客年三月十日附機密第一一三號林總領事申進ノ通りニテ然ルヘシ  
ト存ス就テハ往電第一三五號竝ニ創設費豫算至急御回電アリタク  
尙「ユエ」領事館モ大使府出張所ト稱スル筈ナリ(了)

外務省

外機密

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 弘報 調査 南洋 人事 儀典 文書 會計 會社 秘書官

寫送先

M1.3.0.7-3

昭和17 四〇四四 暗 西貢 二月七日前發 通、南  
本省 七日後着

東郷外務大臣

内山公使

第一一二號

(「ユエ」駐在帝國領事館管轄區域ニ關スル件)

河内宛貴電第一一三號ニ關シ

新情勢ニ鑑ミ「ユエ」ハ出張所程度ノモノニテ足ルヘク必スシモ  
領事館ヲ新設スルノ要ナカルヘシトモ思考セラルルモ領事館トシ  
テノ管轄區域ハ客年三月十日附林總領事發大臣宛公信機密第一一  
三號ノ通ニテ結構ナルヘシト存セラル (客年當方往電第一八五  
號參照)  
河内へ轉電セリ

外務省

外機密

電信寫

外機密

大臣  
次官

電信課長

東亞 歐洲 米洲 通商 條約 弘報 調查 南洋 人典 儀典 文書 會計 會社 秘書官

寫送先

1113.0.1-3

1113.0.1-3

總番號	五五六九
符號	暗
昭十七年二月九日午後七時	分
主	管通二

在河内 芳澤大使  
東郷外務大臣

「ユエ」駐在帝國領事官管轄區域ニ關スル件  
第一四〇號 至急

貴電第一八〇號ニ關シ

本省火災ニ因リ御引用ノ來信燒失セルニ付管轄區域名御函電相成  
度尙「ユエ」領事館新設ニ對スル配賦豫算ハ河内副領事ヨリ委細  
聽取アリタク備品等ニテ緊急ヲ要スルモノアサハ稟請アリタシ

昭和17 四五七七 暗  
河内 二月十三日午後發  
本省 十三日發着 通

東郷外務大臣  
芳澤大使

第一九七號ノ一

（「ユエ」駐在帝國領事管轄區域ニ關スル件）

貴電第一四〇號ニ關シ

「ユエ」領事館管轄區域ハ安南州省ト「ラオス」ノ南部五省ヲ管  
轄區域トスルコト即チ

一、安南一河靜（Ha ting）廣平（Quang binh）廣治（Quang tri）  
廣南（Quang nam）廣義（Quang ngai）平定（Binh dinh）富安  
（Phu yen）「ナムソム」（Contum）「ブライク」（Puleicu）

外務省

寫送先

秘書官

會計

文書

儀典

人事

南洋

調査

弘報

條約

通商

米洲

歐亞

東亞

次官

大臣

電信課長

及「ツौरラン」市 (Teurane) (續ク)

外務省

昭和17 四五七五 暗 河内 二月十三日後發 通  
本省 十三日後着

東郷外務大臣

芳澤大使

第一九七號ノ二

ニ「ラオス」ー「カムモン」(Common) 「サメンナケツ」(Savannakhet)  
「サラバンヌ」(Saravane) 「バサック」(Bassac) 「アットブウ  
(Attopen)

從テ安南中ノ北部ノ二省清化。(Thanh hoa) 乂安。(Nghe an) ハ依然河  
内總領事館管轄トシ又同南部ノ慶和。(Khanh hoa) 寧順。(Ninh thuan)  
平順。(Binh thuan) ダラック(Darlac) ( ) 及上「ドナイ」(Hout  
Donnai) ハ西貢領事館管轄トス(續ク)

外務省



電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 弘報 調査 南洋 人事 儀典 文書 會計 會社 秘書官

寫送先

昭和17 四五六九 暗 河内 二月十三日後發 本省 十三日夜着 通

東郷外務大臣

芳澤大使

第一九七號ノ三

行政區劃ヨリ考慮スレハ本件管轄區域ハ安南全國ヲ包括スヘキ  
モノナルモ地域龐大ニ過キ且經濟上、地勢上ノ根據ヨリスレハ  
安南國ノ南北兩地方ハ夫々河内及西貢ノ勢力圈内ニシテ例ヘハ  
交通ノ點ニ於テ上部「ララス」ニ出入スルハ永(VINH)(安  
南 ガイ 安省)ヨリセサル可カラサルト南部安南ノ(脱)「ダラ  
ット」市カ西貢市ノ延長ニ等シク又要塞地帯タル「カムラン」  
灣ニ付テ見ルモ「ユエ」ハ餘リニ遠距離ノ爲情報入手又ハ聯絡

外務省

上困難ナリ西貢カ佛印海軍根據地トシテ「カムラン」灣ヲモ統  
轄シ居ル建前ヨリ同灣ヲ含ム南部五省ハ從前通り西貢領事館所  
屬トシテ存置セシムルヲ可ト認ム(了)

外務省



外機密

昭和十七年四月十七日

河内 二月十三日午後  
本省 十三日午後

外務大臣

芳澤大使

一九七號ノ一

（「ムン」駐在帝國領事官轄區域ヲ編スル件）

附第一四〇號ニ關シ

「ムン」領事官轄區域ハ安南州省ト「ラオス」ノ南部五省ノ際

邊境トスルコト即チ

一安南ノ河内（Ha hinh）廣平（Quang binh）廣治（Quang tri）

廣南（Quang nam）廣義（Quang ngai）平定（Binh dinh）富安

（Phu an）「ムン」市（Neutre）「ムン」市（Phu xien）

及「ムン」市（Neutre）

電信寫

分類 141.3.0.1-3

外機密

昭和十七年四月十七日

河内 二月十三日午後  
本省 十三日午後

通

東郷外務大臣

芳澤大使

第一九七號ノ二

一「ラオス」一「カムモン」(Common) 「サミンナナン」(Savannakhet)

「サラクン」(Saravane) 「クアンタ」(Bassao) 「ナムタン」

(Attapeu)

從テ安南中ノ北部ノ三省清化 (Thanh hoa) 乂安 (Nhe an) 依然河

内線領事官轄トシ又同南部ノ慶和 (Khanh hoa) 寧順 (Ninh thuan)

平順 (Binh thuan) 達ラック (Darlac) (マ) 及上「ドナイン」(Hout

Donnai) 西貢領事官轄トス (横ク)

電信寫

外機密

昭和三十四年四月二十六日 通  
河内 二月十三日午後  
本省 十三日夜着

東郷外務大臣 芳澤大使

第一九七號ノ三

電信寫

行政區劃ヨリ考慮スレハ本件管轄區域ハ安南全國ヲ包括スハキ  
モノナルモ地域膨大ニ過キ且經濟上、地勢上ノ根柢ヨリスレハ  
安南國ノ南北兩地方ハ夫々河内及西貢ノ勢力圏内ニシテ例ヘハ  
交通ノ點ニ於テ上部「ラオス」ニ出入スルハ永（VINH）（安  
南）ガイ（安南）ヨリセサル可カラサルト南部安南ノ（暹）「ダラ  
ット」市カ西貢市ノ延長ニ等シク又要基地帯タル「カムラン」  
海ニ付ア見ルモ「ユエ」ハ餘リニ遠距離ノ爲情報入手又ハ聯絡  
上困難ナリ西貢カ佛印海軍根據地トシテ「カムラン」海ヲモ統  
制シ居ル海軍ヨリ河内ヲ含ム南部五省ハ從前通り西貢領事館所  
屬トシテ存置セシムルヲ可ト認ム（了）

M-0113





分類 M1.3.0.1-3



官報入管蓋



館セラルヘキニ付右實施次第別紙案文ノ通り同領事官ノ管轄區域ニ關スル改正省令ヲ公布スルト共ニ開館ノ告示ヲナスコトト致度
右仰高裁

(日本標準規格B5)

外務省

件名 佛領印度支那「ユエ」駐在帝國領事官管轄區域ノ件	佛印「ユエ」ニ帝國領事館設置方ニ付テハ既ニ關係勅令(在外公館職員定員令及在外公館費用條例)公布相成居ル處近ク本件領事館開
主管 通商局長 勅使事務官	南洋局長 第二課長 儀典課長
次官	通商局 第六課長
會計課長	人事課長
昭和十七年二月十九日起案	昭和十七年二月二十五日決裁
通商局第二課長	

(日本標準規格B5)

外務省

文書課長



注意 決裁手續タルトキハ此ニ寫三通ヲ添ヘ文書課ヘ廻付セラレタシ

M-0113

0209

(省令案)

◎外務省令第 六 號

大正四年<sup>七</sup>外務省令第一號在外帝國領事官管轄區域中左ノ通改正ス  
昭和十七年三月<sup>八</sup>日

外務大臣 東 郷 茂 徳

佛領印度支那河内駐在帝國領事官管轄區域中

「老 樞」

慶南中清化省、又安省、河靜省、廣平省、廣治省、承天省、廣南  
省及「ツौरン」市ヲ

「老樞」中「ユエ」駐在帝國領事官ノ管轄ニ屬セサル地域

安南中清化省及又安省」

ト改メ

佛領印度支那西貢駐在帝國領事官管轄區域中ヨリ

外務省

(日本標準規格B5)

「ビンディン」省、「コンツム」省、「フーエン」省、「カンガ  
イ」省」

ヲ削ル

佛領印度支那西貢駐在帝國領事官管轄區域ノ次ニ

「佛領印度支那「ユエ」駐在帝國領事官管轄區域

老樞」中「カムモン」、「サバンナケツ」、「サラバン」<sup>承天省</sup>、「バ

サック」及「アットブウ」

安南中河靜省、廣平省、廣治省、廣南省、廣義省、平定省、富安  
省、「コンツム」省、「プレイク」市及「ツौरン」市」

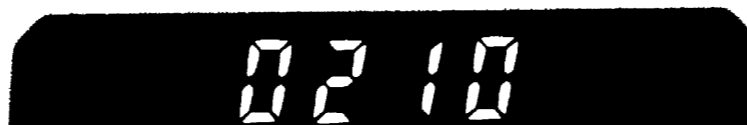
ヲ加フ

附 則

本令ハ昭和十七年三月十一日ヨリ之ヲ適用ス

外務省

(日本標準規格B5)



寫

△類 141.3.0.1-3

件名	佛領印度支那「ユエ」駐在帝國領事官管轄區域ノ件
佛印「ユエ」ニ帝國領事官管轄區域方ニ付テハ既ニ關係勅令（在外公館職員定員令及在外公館費用條例）公布相成居ル處近ク本件領事官管轄	
主管	通商局長
主任	通商局第二課長
大臣	次官
高裁案	昭和十七年二月二十五日 起案 昭和十七年二月二十五日 決裁

文書課長

注意 決裁手續タルトキハ直ニ第三通ヲ添テ文書課ヘ送付セラレタシ

外務省

(日本標準規格 B5)

◎外務省告示第 十 號  
佛領印度支那「ユエ」ニ帝國領事館ヲ設置シ昭和十七年三月十一日  
日開館セリ  
昭和十七年三月十八日  
外務大臣 東 郷 茂 徳

外務省

(日本標準規格 B5)

M-0113

0211



「ビンディン」省、「コンツム」省、「フーエン」省、「カンガイ」省  
ヲ削ル

佛領印度支那西貢駐在帝國領事官管轄區域ノ次ニ

「佛領印度支那「ユエ」駐在帝國領事官管轄區域

老樞中「カムモン」、「サバンナケツ」、「サラバンタ」、「バ

サック」及「アットフウ」

承天省

安南中河靜省、廣平省、廣治省、廣南省、廣義省、平定省、富安

省、「コンツム」省、「フレイク」市及「ツーラン」市

ヲ加フ

附 則

本令ハ昭和十七年三月十一日ヨリ之ヲ適用ス

外務省

(日本標準規格B5)

◎外務省告示第 號

佛領印度支那「ユエ」ニ帝國領事館ヲ設置シ昭和十七年三月十一日

日開始セリ

昭和十七年三月 日

外務大臣 東 郷 茂 徳

外務省

(日本標準規格B5)



分類 M 1.3.6.1-3

◎佛領印度支那

河内總領事館

東京、老中「ユユ」駐在帝國領事館ノ管轄ニ屬セサル地域

安南中清化省又安省

西貢領事館

交趾支那、安南中「ビンチュアン」省、「ダラック」省、上

「ドナイ」省、「カンホア」省、「フアンラン」省、「ダラ

市

△「ユユ」領事館

老中「カムモン」、「サバンナケツ」、「サラバンク」、

「バサツク」及「アヌトブウ」

安南中河靜省、廣平省、廣治省、承天省、廣南省、廣義省、

平定省、富安省、「コンツム」省、「ブレイク」市及「ツ

ラン」市

外務省

(日本領事規程B5)



分類 M1.30.1-8

件名	佛領印度支那「ユエ」駐在帝國領事官管轄區域ノ件
佛印「ユエ」ニ帝國領事館設置方ニ付テハ既ニ關係勅令（在外公館職員定員令及在外公館費用條例）公布相成居ル處近ク本件領事館開	
主管	通商局長 主任 通商局第二課長
大臣	次官
高裁案	昭和十七年二月二十五日起案 昭和十七年二月二十五日決裁

(日本標準規格 B5)

文書課長

注意 決議ヲ經タルトキハ凡ニ寫三通ヲ添ヘ文書課ヘ廻付セラレタシ

外務省

(日本標準規格 B5)

△「フノンペン」領事館  
東蒲塞

市

「シヤト」管、「カクヤイ」管、「クヤイ」管、「シヤク」管、「シヤク」管、  
 交通支那、安南中「シヤク」管、「シヤク」管、「シヤク」管、  
 西貢總領事館  
 安南中「シヤク」管又安南  
 東京、法中「シヤク」管在帝國領事館ノ管轄ニ屬セザルニ就  
 西内懸總領事館  
 ◎勅諭回支那







「ビンディン」省、「コンツム」省、「ソーエン」省、「カンガ  
イ」省」  
ヲ削ル

佛領印度支那西貢駐在帝國領事官管轄區域ノ次ニ  
「佛領印度支那「ユエ」駐在帝國領事官管轄區域

老越中「カムモン」、「サバンナケツ」、「サラバンタ」、「バ  
サック」及「アフトブウ」

安南中河靜省、廣平省、廣治省、<sup>承天省</sup>廣南省、廣義省、平定省、富安  
省、「コンツム」省、「フレイク」市及「ツौरラン」市」  
ヲ加フ

附 則

本令ハ昭和十七年三月十一日ヨリ之ヲ適用ス

外務省

(日本標準規格B5)

◎外務省告示第 號

佛領印度支那「ユエ」ニ帝國領事館ヲ設置シ昭和十七年三月十一日  
日開館セリ

昭和十七年三月 日

外務大臣 東 郷 茂 徳

外務省

(日本標準規格B5)

M-0113



通商局長

第二課

別紙添附

政二極秘第一二五號

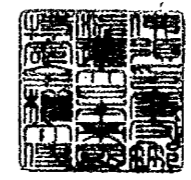
昭和十七年三月九日

昭和十七年三月廿六日接受

極秘

在佛印日本特派大使府  
事務總長 栗山

外務大臣 東郷茂徳殿



「ユエ」領事館管轄區域ニ關スル件

本件ニ關シ不取敢電報シ置キタルモ關係書類燒失セル趣ニ付客年三月十日附機密第一一三號林總領事發信寫一部送付ス

在佛印大日本特派大使府

(日本標準規格B5)

寫

機密第一一三號

昭和十六年三月十日

在河内  
總領事 男爵 林 安

外務大臣 松岡洋右殿

「ユエ」領事館管轄區域ニ關スル件

本件ニ關シテハ不取敢電報ヲ以テ申進置タル通安南ノ中部十省ト老  
樞ノ南部五省トヲ合セテ在「ユエ」(順化)領事館管轄區域トスル  
コト尤モ適當ト認メラルル處其ノ省名及理由左ノ如シ

一、省名

- 安南一河靜 (Ha Tinh) 廣平 (Quang Binh) 廣治 (Quang Tri)
- 承天 (Thua Thien) 廣南 (Quang Nam) 廣義 (Quang Ngai)

在佛印大日本特派大使府

(日本標準規格B5)



平定 (Binh Dinh) 富安 (Phu Yên) ロンキム  
 (Kon Tum) ブライク (Pleiku) 及 ツーラク  
 市 (Tourane)  
 老 樞 (カムモン) (Common) サヴァンナケツ (Savannahet) サラヴァン (Saravane) バサック (Bassac) アットブウ (Attopen)

從テ安南中ノ北部二省タル清北 (Thuan Hoa) 入安 (Kehe) 安 (An) ハ依然河内總領事館ノ所屬トシ又同南部ノ慶和 (Khan Hoa) 寧順 (Ninh Thuan) 平順 (Binh Thuan) デラック (Darlac) 及ヒ上ドナイ (上同 Haut-Dome) ハ西貢領事館ノ所屬トシテ從前通り夫々存置セシムルモノナリ

二、行政區劃ヨリ考慮スレハ本件管轄區域ハ安南全國ヲ包括スヘキモノナルモ地域尨大ニ過キ且經濟上地勢上ノ根據ヨリスレハ安南國ノ南北兩地方ハ夫々河内並西貢ノ勢力圈内ニシテ例ヘハ交

在佛印大日本特派大使府

(日本標準規格 B5)

通ノ點ニ於テ上部老樞ニ出入スルハ「ヴィン」(永 Vinh) (安南入安省) ヨリセサル可カラサルト南部安南ノ上「ドナイ」省「ダラック」市カ西貢市ノ延長ニ等シク又要塞地帯タル「カムラン」灣ニ付テ見ルモ「ユエ」ハ余リニ遠距離ノ爲情報入手又ハ連絡上困難アリ且西貢カ佛印海軍根據地トシテ「カムラン」灣ヲモ統轄シ居ル建前ヨリ同灣ヲ含ム南部五省ハ從來通り西貢領事館所屬トシテ存置セシムルヲ可ト認ム

追テ本件區劃ニ付テハ在當地澄田機關ニ於テモ同意見ナルニ付右御含ミ相成度シ

在佛印大日本特派大使府

(日本標準規格 B5)



秘

昭 和 十 三 年 三 月 十 三 日 後 發 南 通  
本 省 十 三 日 前 着

東 郷 外 務 大 臣

栗 山 專 務 總 長

第 三 五 四 號

( 在 「 エ エ 」 領 事 館 開 設 件 )

河 内 省

本 省 三 月 十 一 日 着 任 同 日 在 「 エ エ 」 領 事 館 左 邊 開 設 セ リ

Grand Hotel north and present rue d'Alsace ferry 尚 電 報 ( 當 分 ) 簡

河 内 大 使 府 經 由 願 慶

南 大、滿、「タイ」、西貢公使へ電報ノ海防ニ報セリ

電信寫

特 扱

昭 和 十 三 年 二 月 十 三 日 後 發 通  
河 内 省 十 三 日 後 着

東 郷 外 務 大 臣

芳 澤 大 使

第 一 九 七 號 ノ 一

( 「 エ エ 」 駐 在 帝 國 領 事 管 轄 區 域 關 係 )

貴 電 第 一 四 〇 號 ニ 關 シ

「 エ エ 」 領 事 館 管 轄 區 域 へ 安 南 州 省 ト 「 タ オ ス 」 ノ 南 部 五 省 ノ 管

轄 區 域 ト ス ル コ ト 即 チ

安 南 一 河 靜 ( He ting ) 廣 平 ( Quang binh ) 廣 治 ( Quang tri )

廣 南 ( Quang nam ) 廣 義 ( Quang nghai ) 平 定 ( Binh dinh ) 廣 安

( Phu yen ) 「 ナ ム ナ 」 ( Corum ) 「 ナ ム ナ 」 ( Pajou )

電信寫

外 務 省

特扱

及「ツーン」市 (Teurane) (續々)

電信寫

外務省

特扱

昭和V 四五七五 曆 河内 二月十三日午後 通  
本省 十三日午後

東郷外務大臣

芳澤大使

第一九七號ノ二

ニ「ラオス」ー「カムキン」(Comm) 「サハムナタ」(Savannah)  
「サラハム」(Saravane) 「マサンタ」(Maso) 「ムアム」  
(Attopeu)

從テ安南中ノ北部ノ二省清化 (Thanh hoa) 安 (Nghe an) 依然河  
内總領事館管轄トシ又同南部ノ慶和 (Khanh hoa) 寧 (Thanh thanh)  
平 (Binh thanh) マン (Darlac) 及上「ドナイ」(Hout  
Donnai) 西貢領事館管轄トス (續々)

電信寫

外務省



特扱

昭和17 四五六九 暗 河内 二月十三日 午後 通  
本省 十三日夜着

東郷外務大臣 芳澤大使

第一九七號ノ三

行政區劃ヨリ考慮スレハ本件管轄區域ハ安南全國ヲ包括スヘキ  
モノナルモ地域廣大ニ過キ且經濟上、地勢上ノ根據ヨリスレハ  
安南國ノ南北兩地方ハ夫々河内及西貢ノ勢力圏内ニシテ例ヘハ  
交通ノ點ニ於テ上部「ラフス」ニ出入スルハ水(VINH)(安  
南<sup>○</sup>ガイ<sup>○</sup>安省)ヨリセサル可カラサルト南部安南ノ(脱)「ダラ  
ット」市カ西貢市ノ延長ニ等シク又要道地帯タル「カムラン」  
灣ニ付テ見ルモ「ユエ」ハ餘リニ遠距離ノ爲情報入手又ハ聯絡

電信寫

外務省

特扱

上困難ナリ西貢カ佛印海軍根據地トシテ「カムラン」灣ヲモ統  
轄シ居ル建前ヨリ同灣ヲ含ム南部五省ハ從前通り西貢領事館所  
屬トシテ存置セシムルヲ可ト認ム(了)

電信寫

外務省



